

〈研究課題〉「外来患者における経口抗菌薬使用実態調査」

令和5年12月15日

1. 研究の対象者：

2022年～2028年（予定）の間に、外来において経口抗菌薬を処方された患者さんを対象とします。

2. 研究目的：

近年、細菌の感染を治療する抗菌薬の不必要な使用によって抗菌薬が効きにくくなる細菌（耐性菌といいます）が出現するようになり、細菌に感染した患者さんの治療に大きく影響を及ぼす事例が発生してきています。この状況を鑑みて、厚生労働省は薬剤耐性菌に対する行動計画プラン（薬剤耐性（AMR）対策アクションプラン）を公表しました。このプランを有効に進めるために、医療機関は外来患者さんに処方された経口抗菌薬の使用状況を調査し、近隣の医療機関と情報共有することによって、地域ぐるみで経口抗菌薬の適正な使用を検討することが求められています。そこで、当院ではこの対策を確実に推進することを考えた結果、外来経口抗菌薬の適正使用を目的として、近隣の医療機関と連携して経口抗菌薬の処方状況調査を経時的に実施し解析することを計画しました。

3. 研究に用いる資料・情報の種類

外来診察で処方された経口抗菌薬の種類、用法用量などを診療報酬情報、カルテ、調剤情報システム等から収集し、疾患ごとに処方された経口抗菌薬の処方人数、処方されなかった人数等を集計します。

集計するための目印として、患者さんのお名前やID、年齢、性別等の情報を用います。集計した結果は人数のみを扱い、患者さんのお名前やID、年齢、性別等は集計の段階で取り除かれます。なお、この調査に於いて、患者さんに特別な費用は発生いたしません。

4. 外部への試料・情報の提供

3.でも書かれていますように、患者さんの氏名やID、年齢、性別等の個人情報を取り除かれ、人数だけが取り扱われますので、第三者が患者さん個人を特定することは不可能です。このように、プライバシーへ最大限に慎重に配慮を行った上で調査を行い、集計データを研究会や学会、学術雑誌などで公表する予定です。

5. 研究者

研究者：甲賀市立信楽中央病院 薬剤科 宇野 孝志

共同研究者：地方独立行政法人公立甲賀病院薬剤部 國領 俊之

6. お問い合わせ先

本研究は診療録(カルテ)や診療情報データベースから診療情報を調査する後ろ向き研究であり、情報等の使用について同意書はいただきません。診療情報が本研究に用いられることについてご了承いただけない場合は調査対象から除外いたしますので、下記の連絡先にお申し出ください。本研究にご了承いただけない場合でも患者さんの診療に不利益が生じることはありません。対象となる患者さんにおかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

甲賀市立信楽中央病院 薬剤科 TEL：0748-82-0249

(お問い合わせの際は「外来の経口抗菌薬使用実態調査の件で」とお伝えください)

以上